

令和4年11月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和4年11月29日（火）午後2時00分開会
午後3時16分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第34号から第35号
日程第7 協議及び報告事項 報告第24号から第26号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（4名）

1番 鹿嶽昌功 2番 大野裕己
4番 中上之仁 5番 中野文雄

○説明のため出席した者（9名）

学校教育部長 松下 修 学校教育部次長 浅野晋司
学校再編担当次長 外岡明文 教育総務課長 井上尚博
学校再編課長 上野 樹 学校教育課長 田中仁朗
教育支援課長 市原 敦 教育研修所係長 高藤由紀子
学校給食課長 廣瀬敏彦

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表 谷本正弘
小学校校長会代表 福井博行

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 靱井清陽
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 中 上 之 仁

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和4年11月第286回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、日程第6の議案第35号「令和4年度一般会計12月補正教育予算案に関する教育委員会の意見の申し出について」は、未確定の情報等を含んでいるため、また、追加報告の報告第26号「県費負担教職員懲戒内申について」は、特定の個人情報を含んでいるため、どちらも非公開とし、全ての議事・報告が終了した後に審議したいと思いますがいかがでしょうか。

○教育委員

《異議なし》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それではそのようにさせていただきます。
資料は後ほどお配りいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和4年10月27日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、4番 中上之仁 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和4年11月29日火曜日午後2時00分開会
といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

本年もあと一ヶ月、朝夕の寒さも厳しくなってきました。
学校ではやはり新型コロナウイルス感染が拡大しており、拡大防止のため積極的に学級閉鎖を行なうとともに、感染対策に努めているところです。ただ、冬になってくると教室の換気等難しい部分もでてきます。そういったことにも配慮しながら、この第8波の拡大に対処していきたいと思っています。
それでは、前回10月27日以降の活動について、少し多いですが11点、報告いたします。

1) 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展表彰式 (10/30)

10月30日、3年ぶりに開催されたユネスコ協会主催の「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展」の表彰式に出席しました。

教育長賞の授与ということでしたが、子どもたちのふるさと三田をいろいろな視点から描いた絵を楽しませていただきました。

これからも、三田のいいところ、たからものを描いていってほしいと思います。

2) 令和4年度近畿市町村教育委員会研修大会(11/1)

11月1日にオンラインで令和4年度の近畿市町村教育委員会研修大会が開催されました。昨年は、兵庫県の尼崎市が担

当でリアルな形で研修会が実施されましたが、本年度はオンライン開催でした。

講演では、まず慶應義塾大学教授の中室先生から「教育に科学的根拠を」として、非認知能力をどのように育成していくかといったお話を、次に、四条畷学園短期大学教授の山田先生から「プロジェクト型保育の実践報告」として、就学前教育の実践とその中での非認知能力の育成のヒントをいただきました。

3) 第10回三田市中学校英語暗唱大会(11/5)

11月5日の土曜日、ウッディタウン市民センターで、第10回となります三田市中学校英語暗唱大会を開催しました。今年は20名の生徒が、各学年の課題に対して暗唱を行いました。毎年のことながら、だれひとり詰まることなく、約2分程度英語で暗唱していましたが三田の中学生の努力に感心しました。

今年は、中学2年生がグランドチャンピオンに輝きました。現在市内中学校の3年生は、各学期に1回、自身のタブレットを使って海外にいる外国人英語講師とオンラインでマンツーマンでの英語授業に取り組んでいます。

これからも小学校から連続した英語授業の充実に努めていきたいと思っています。

4) 第70回丹有地区中学校連合音楽会(11/10)

11月10日、郷の音ホールの大ホールで、第70回丹有地区中学校連合音楽会が開催されました。7日に市内中学校の合唱大会が開催されましたが、私は公務で参加できず、10日には丹有地区の連合音楽会が開催され、丹波篠山市、丹波市の中学校代表を交え、三田市からは5校が参加し、全13校による連合音楽会に参加させていただきました。

コロナ禍ではありますが、中学生の息の合った吹奏楽や合唱を聞かせていただき、清々しい気分になりました。3年ぶりということですが、開催出来て本当に良かったと思います。

5) 令和4年度兵庫県国公立幼稚園・こども園教育研究会東支部研究発表会(11/11)

11月11日、三田幼稚園で開催された兵庫県国公立幼稚園・こども園教育研究会東支部研究発表会に参加しました。三田市では、就学前教育・保育については市長部局が所管していますが、小学校への接続ということで、就学までにつけさせたい資質・能力の姿を共有しながら取り組んでいただいています。

久しぶりの幼稚園現場でしたが、3歳、4歳、5歳と学齢にあわせた遊びを通して、園児自らが考え行動している姿を見せていただきました。

現在小中一貫した教育の推進を進めていますが、就学前の取組を継続して小学校につなげる保幼小の連携の重要性をあらためて実感いたしました。

6) 令和4年度阪神地区公立小学校生徒指導担当者研修会 (11/17)

11月17日に郷の音ホールの小ホールで、阪神地区市町の小学校の生徒指導担当者を集めた研修会が開催されました。コロナの影響による生徒指導事案の増加、特に不登校児童の問題は小学校でも顕著であり、本年が三田市での当番開催とはいえ、リアルな形で研修会が開催された意義は大きいと思います。

私自身は開会行事のみの参加でしたが、「みんなの学校」として紹介された大阪市立大空小学校の初代校長木村先生のご講演がありました。

本市でも小学校の不登校児童の増加への対応が大きな課題となっています。生徒指導担当者にとって意義ある研修会だったと思います。

7) 三田小学校研究発表会(11/17)、ゆりのき台中学校研究発表会(11/25)

幼稚園の研究発表会に続き、小学校と中学校の研究発表会に参加しました。11月17日には、三田小学校での「特別の教科道徳」の研究発表会、そして中学校の発表はなかなかありませんが11月25日ゆりのき台中学校の「情報教育」の研究発表会に参加しました。

三田小学校では、「より対話的な道徳、考え・議論する道

徳」の在り方を探り、「深い学び」のある授業づくりの研究に取り組んでこられました。また、本年度は県指定を受けられ、中学校区内での連携にも取り組んでおられます。

ゆりのき台中学校では、今年1月から全小・中学校に導入した総合学習アプリ「ミライシード」を各教科で活用した授業作りが進められており、ICTを活用した効果的な授業づくりの研究の成果を発表されました。

それぞれの研究の成果を、これからの各学校での実践に活かしていただきたいと思います。

8) 第2回三田市学校給食運営協議会(11/18)

9月の第1回目に引き続き、第2回の協議会を11月18日に開催しました。前回ご検討いただいた保護者アンケートを実施した結果についての報告と、それに基づくこれからの三田の学校給食のあり方について、献立や食材、地産地消等のご意見をいただきました。

次回は年明け1月を予定しており、学校給食費の費用負担のあり方を中心に検討いただきたいと思います。

9) 三田市総合防災訓練(11/19)

11月19日の土曜日、三田市の総合防災訓練が弥生小学校で開催されました。

今回は地震を想定した訓練で、弥生小学校全校児童の校庭への避難訓練から始まり、消火訓練には児童も参加しました。避難所運営の訓練、救出救助訓練が地域の皆さんとともに実施されました。

子どもたちも煙体験や展示ブースの見学などを行っていました。防災意識の向上につながったのではないかと考えています。

10) 令和4年12月三田市議会定例会(11/24)

11月24日、12月の定例市議会が開会しました。12月23日までの30日間の日程で、教育委員会としては電気代等の高騰による学校及び給食センター管理費の補正、また、本日報告させていただくゆりのき台小学校プレハブ校舎リース料の次年度債務設定の補正を提案しています。

また、別途、国の補正追加によるコロナ対策用品の購入費、部活動地域移行にかかる協議会開催費等の補正を追加提案する予定です。

今後、一般質問もあると考えますので、適切に答弁してまいります。結果については、次回の教育委員会定例会で報告いたします。

なお、三木委員の教育委員としての任期が12月24日までとなっています。人事案件も追加提案される予定です。

1 1) 令和4年度小中学生理科・生活科作品展表彰式
(11/26)

11月26日の土曜日、ウッディタウン市民センターにおいて、コロナ禍で開催できなかった小学校の理科・生活科の作品、中学校の理科の自由研究の作品の優秀作品の表彰式を3年ぶりに開催しました。

物理・化学分野を対象とした川本幸民賞5点、生物・地学分野を対象とした教育長賞5点、そして審査員特別賞2点、小中学生あわせて表彰を行いました。

来年も素晴らしい作品を期待しています。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 県費負担教職員のサービスの監督その他人事の一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第6号関係】

議案第34号「令和5年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第34号「令和5年度公立学校教職員異動方針について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

実施に当たっての留意事項の部分は昨年度と変わらないですか。

○教育総務課長
(井上 尚博)

はい、変わりありません。

○教育委員
(中野 文雄)

校種間の人事異動を積極的に推進していくという点は今年度も変わらないようですが、現在三田市では小中一貫教育に向けた方向性が示される中で、どのように推進していくのかをお伺いしたいです。

また、校種間の異動について、小学校、中学校、特別支援学校と3校種ありますが、肢体不自由に特化したひまわり特別支援学校への人事異動に向けた課題、それに伴う異動方針に基づいた職員の資質向上や適正化をどのように図っていくのかをお伺いしたいです。

○学校教育部長
(松下 修)

まず、小中一貫教育についてですが、いきなり校種間異動となると小学校、中学校それぞれの文化の違いもあり難しいと思います。

小中一貫教育で大切にしていることは、来年度以降、小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校へ行く機会を増やし、お互いの理解を増やしていくことに努めたいと考えています。その中で、校種間の異動の希望が出てくるよう小中一貫教育の魅力も伝えていきたいと思います。

小中一貫教育にはお互いの先生の理解が最も大切だと考えておりますので、視察や研修等でもしっかりと進めてまいります。

続いてひまわり特別支援学校についてですが、現状では異動してきたばかりの先生が、てんかん発作のチアノーゼを初めて見たり、人工呼吸器のアラームを初めて聞いたり、時には胃ろうから漏れた胃液を見ることもあります。常に命のリスクに対するストレスを感じる先生も多いと思います。また、そういう場で熱心に指導すればするほど、小学校、中学校へ復帰するときの不安は高まっているようです。

さらに、小学校、中学校でのキャリアがひまわり特別支援学校では活かす場が少ないというのも現状としてあるようです。特別支援学校の免許のない先生は、あらたに免許を取得

しに行かなければいけないうえに、多くの研修に参加しなければならぬのもストレスになるようです。毎年度、異動希望が少ないのもそういった課題があるからだと思います。ただし、私自身のひまわり特別支援学校長の経験から言いますと、もっと学校としての魅力を発信していかなければならないと考えます。ひまわり特別支援学校ほど命の尊厳を考えられる学校は市内では他にはありません。そのことは小学校、中学校へ戻っても活かされますし、肢体不自由教育では認知面、知的面、身体のことや進路・就職指導まで幅広く関わっていかなければなりません。これらのことを学んで三田市の小中学校特別支援教育へ戻るとは、三田市の特別支援を推進していくことに繋がりますので、そういったメリットの発信をしっかりとしていく必要があると考えています。それを知るために、現在この教育委員会の建物で行われています研修も、実際にひまわり特別支援学校で実施するなど現状を見て知っていただく機会を増やしていきたいと思っています。今後は校長会とも連携し、先生方にも研修等を持続的に進めることでひまわり特別支援学校への異動も視野に入れて考えてもらえるよう進めていきたいと考えています。ゆくゆくは持続的に特別支援教育のセンター校的な役割りを担っていったらと考えております。

○教育委員
(中野 文雄)

ありがとうございます。
特別支援学校というのは、いわゆる「特別」ではない学校のひとつであるという観点から、人材育成をどう計画的に進めていくのかが大事になると思います。課題や支援を有する子どもたちのために教育効果を上げていくには、人材をしっかりと育成する機能が必要であります。そのためには、学校だけでなく、市教育委員会や校長会とも協力しながら、勤める一人一人の先生のキャリアアップを図り、そのキャリアを市内全体に生かすことができるシステム的なものを構築していくことが大事になると思います。
先生方の異動希望が基本にはなりますが、ビジョンを持った人事異動が人材育成の観点であり、資質向上を図るという点も踏まえて進めていただきたいと思っています。
小中一貫教育についてですが、ふだん行われている小学校、中学校の連携の中からお互いを理解していく手段としての人事交流があってもいいと思います。
教員志望が減りつつある現状で、教員不足が懸念されます。

各学校の校長先生も自分の学校だけでなく、三田市全体の学校教育を見据えて人材育成に取り組んでいくことが望ましいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今後小中一貫教育についても、ひまわり特別支援学校への異動についても検討していかなければならないので、いただいたご意見も課題として検討していきたいと思います。

他にご意見等ございますか。

ないようでしたら、現在(案)となっております方針を決定として承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、議案第35号は非公開となりますので後ほど審議したいと思います

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議及び報告事項に移ります。

報告第24号「令和4年度一般会計12月補正教育予算案の報告について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第24号「令和4年度一般会計12月補正教育予算案の報告について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

仮設校舎の使用期間はいつまで見込んでいるのですか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

リース契約は5年です。5年後には児童数も減ってくるのであくまでプレハブの校舎になります。

期間は5年ですが、もし転入等で児童数が減らなかった場合はリース期間の延長は可能です。あとは仮設のプレハブ校舎の耐久性の問題になると思います。

○教育委員
(中野 文雄)

リース契約が終われば仮設校舎も撤去してしまうのですか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

はい。撤去しますのでグラウンドはまた広く使うことができます。

○教育委員
(大野 裕己)

工事を分割することによって使用可能となった部分が先に使える一方で雨が降ると移動教室は傘が必要だったり、その他想定していなかったことが出てくると思います。そのあたりの配慮や注意等々図って進めていただきたいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第25号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第25号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、12月もよろしくをお願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、12月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

12月教育委員会定例会の開催日時は令和4年12月22日(木)午後2時30分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
では、まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(谷本 正弘)

○音楽会について
教育委員会のご支援をいただき、英語や理科、音楽、書写、美術など様々な学習成果を発表する場をいただいていることに感謝をしております。

さて、市内中学校すべての文化祭を無事実施できましたことをまず報告いたします。特に、合唱は2年ぶりの実施となりましたが、生徒たちは練習の成果を発揮し、見事な合唱を発表してくれました。保護者の皆さんにも参観していただき、「涙が出てきました」「マスクを外した顔を見ることができて嬉しかったです」と、とても喜んでいただきました。そのあと、11月7日の三田市中学校音楽会には各中学校から代表クラスが出場しました。教育委員会からも出席いただきありがとうございました。どの学校も3年生が代表として出場し、見事な合唱を披露してくれました。上手さを競うのではなく、「困難な状況の中、開催できて本当に良かった」「お互いにここまでよく頑張った」という雰囲気にも包まれ、感動的な音楽会となりました。

次に、2年生のトライやる・ウィークですが、こちらの方も第一期、第二期ともに無事実施することができました。体験させていただきました生徒たちは大変充実感をもって学校へ帰ってきました。事業所や校区推進委員会の皆様、地域や保護者の皆様のお陰と感謝しています。

○期末テストを終えて

中学校は期末テストを先週に終え、2学期もいよいよ残り3週間余りとなりました。12月中に生徒会役員選挙をどの学校も実施し、3学期からは2年生を中心とする新役員体制となります。また、3年生は進路先を決定する大切な懇談の時期を迎えます。コロナの感染予防対策を継続し、教育活動をしっかりと行ってまいりたいと考えます。引き続き、ご支援

をよろしくお願いいたします。

○小学校校長代表
(福井 博行)

○音楽会について

10月下旬から11月中旬には多くの小学校で音楽会が行われ、無事終了しました。今年は、6校が合唱をマスク着用で行いました。主な演目は合奏でしたが、鍵盤ハーモニカやリコーダー奏も実施しました。ボディパーカッションや手拍子などを使って発表を工夫した学校もありました。実施に当たっては、入れ替え制にするなど、学校規模に応じて、感染症対策をしっかりと行って実施しました。

○作品展等2学期行事について

理科・生活科作品展や先日終了した児童・生徒作品展においては、今年度は例年通り行われ、子どもたちの力作が見られました。また、今年度は、中止になった連合体育大会の代替措置として校内記録会を全小学校で実施しました。なわとびでは、ひとりひとりが日頃からの練習の成果を発揮し、自己記録を更新しました。中には二重跳び、あやとび、駆け足跳び3種目を制覇した児童もいました。

各学年の校外学習もほとんどが無事終わりました。今年度は、通常通り秋の遠足に行けたことを子どもたちはとても喜んでおりました。

第8波の到来で、校内では、より基本的な感染対策を徹底していく必要があります。いよいよ12月。2学期のしめくくりの月です。あとひと月、感染症対策をしっかりと行い、「子どもたちの意欲」を大切にしながら教育活動を進めていきたいと思えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは引き続き議案第35号の審議に入ります。ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。